

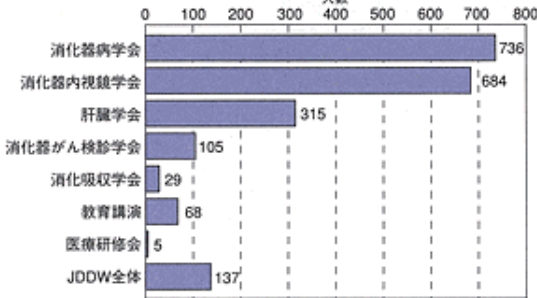
JDDW 2007 (日本消化器関連学会週間) 神戸は、5学会が参加して開催となりました。各学会長の先生、運営委員会実務担当の先生方、学会の事務局をはじめとする多くの関係各位のご尽力のお陰を持ちまして、16,784名(過去最高)の皆様を神戸の地にお迎えし、盛会のうちに学会を終了することが出来ました。2007年も昨年同様アンケート調査に、多数の参加者各位より貴重なご意見を頂戴いたしました。JDDW 2007 全体については、78%の参加者が普通以上の満足度を示しております。また、現行のJDDW方式については、73%の参加者より継続すべきのご意見を頂いております。主題等につきましては、55%が適切のご回答を頂いておりますが、27%の参加者より多い、やや多いのご指摘も頂戴しており、今後検討すべき課題と思われまます。今後も各学会と連携を更に密にし、最善の努力を図って参りたいと考えております。参加者各位より一層のご意見、ご教示を賜りますようお願い申し上げます。

- ### JDDW 2007 運営委員会
- 第49回日本消化器病学会大会
会長 跡見 裕 (杏林大・外科)
 - 第74回日本消化器内視鏡学会総会
会長 北野 正剛 (大分大・1外科)
 - 第11回日本肝臓学会大会
会長 有井 滋樹 (東京医歯大大学院・肝胆臓・総合外科学)
 - 第45回日本消化器がん検診学会大会
会長 一瀬 雅夫 (和歌山県立医大・2内科)
 - 第38回日本消化器学会総会
会長 三木 一正 (東邦大・消化器内科)

はじめに

JDDW 2007 は10月18日(木)から21日(日)まで4日間にわたり、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本消化器がん検診学会、日本消化器学会の5学会が参加しポートピアホテル、神戸国際会議場、神戸国際展示場で開催された。参加者は16,784名であり、JDDW発足以来最高を記録した。学会参加者に対して、17項目のアンケートを実施し1,045名から回答が得られた。JDDWの実態や問題点を浮き彫りにし、今後の運営に貴重なデータと考えられる。以下、その主な項目を抜粋し、結果を報告する。

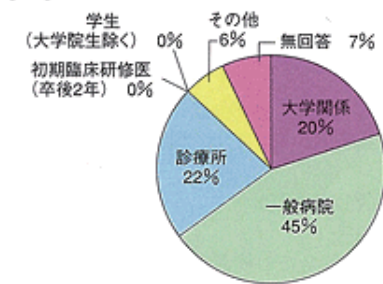
【図1】今回、どの学会を主な目的で参加されましたか？(複数回答可)



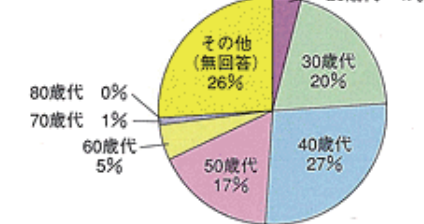
回答者の背景：所属施設、年齢層、参加目的

アンケート回答者のカテゴリーは一般病院が最多の45% (467名)で、次いで診療所22% (234名)、大学関係20% (210名)であった。年齢は30歳代、40歳代、50歳代で全体の2/3程度を占めていた。また、どの学会を目的で参加したか？の回答では消化器病学会、消化器内視鏡学会、肝臓学会の順に多く、JDDW 全体と回答したのは13% (137名)であった。2010年からは消化器外科学会も参加予定であることもあり、これまで以上に各学会間の緊密な連携を持ち共同のテーマを掲げ、JDDW を開催していく工夫が必要であると考えられる。

【図2】カテゴリー



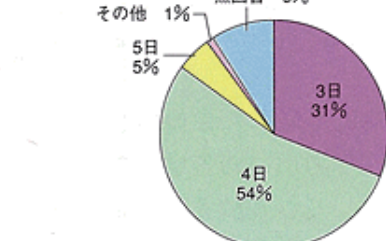
【図3】年齢層



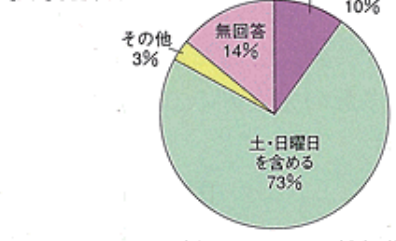
開催の希望日数と曜日について

希望する日数は3日が31%、4日が54%でほぼ大多数を占める。また希望日は土・日曜日を含める開催を希望する回答が73%を占めていた。参加者の構成が一般病院、診療所からがほぼ2/3を占めることを考慮すると、今後も土・日曜日を含めた期間での開催を継続すべきと考えられる。また前述のごとく、参加学会が今後増えることもあり、各学会間で日程、プログラムの作成等、より緊密な調整が必要である。

【図4】希望日数



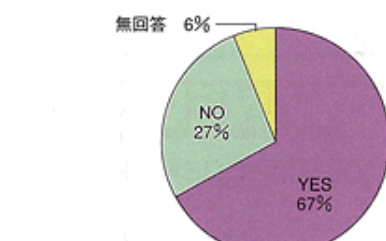
【図5】希望曜日



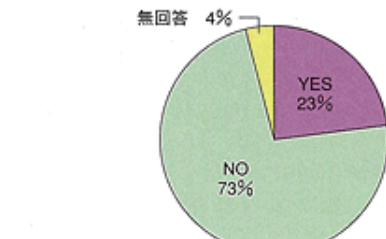
ホームページとCD-ROM抄録集について

アンケート回答者全体に対し、JDDW2007のホームページにアクセスした割合は約2/3を占めた。また演題申し込みをした割合は23%であった。このうち演題申し込みをした76%は自分で演題を登録しており、その操作性は良いが46%、やや良いが25%、普通が27%であり、まったく問題ないものと思われた。CD-ROM抄録集の配布は続けたほうが良い42%、なんとも言えない27%であった。JDDW 参加者全員が必ずしもホームページにアクセスするわけではなく、かつ事前配布を希望する声もあることから、CD-ROM抄録集の配布を継続する意味はあるものと思われる。

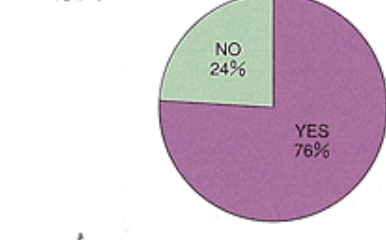
【図6】JDDW 2007のホームページにアクセスされましたか？



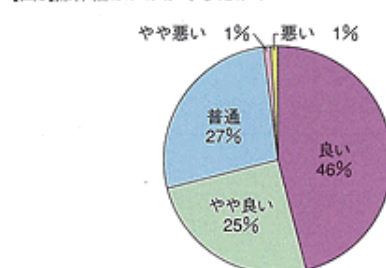
【図7】JDDW 2007に演題申し込みされましたか？



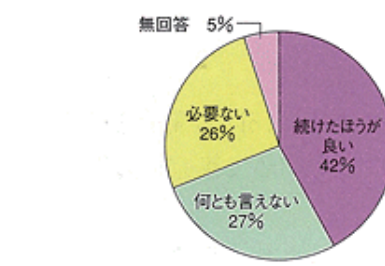
【図8】Yesの方のみお答え下さい。演題の登録はご自分でなさいましたか？



【図9】操作性はいかがでしたか？



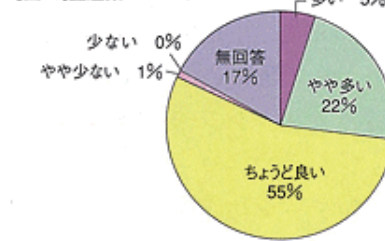
【図10】CD-ROM抄録集の配布について



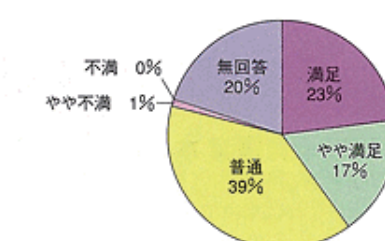
回主題数、コンピューター発表について

シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ等の演題数はちょうど良いとの回答が55%であった。一方多い、やや多いが5%、22%であった。演題数については大きい問題はないと思われるが、例年と類似した演題や、学会間で類似した主題があるとの指摘があった。また興味のある主題のスケジュールが重なるとの指摘もあり、プログラムのより綿密な調整が必要であると感じられた。コンピューター発表については満足、やや満足、普通が23%、17%、39%であり、全体の約8割を占め全く問題ないものと思われる。

【図11】主題数について



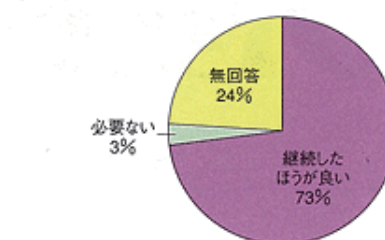
【図12】コンピューター発表について



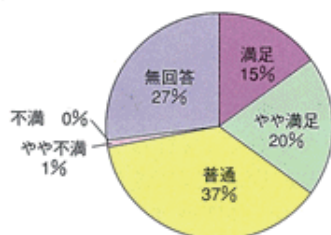
合同セッション、教育講演、医療研修会について

合同セッションは継続した方が良いが73%で必要ないはずが3%であり、例年通り高い支持率であった。教育講演は、満足が15%、やや満足が20%、普通が37%であり、これらで全体の72%を占めていた。教育講演の希望テーマについては、幅広くオーソドックスなものから、最新のトピックスまで様々なものが挙げられた。また教育講演は最終の1日だけでなく、少なくとも2日間に分けて開催して欲しいとの要望があった。医療研修会については満足が8%、やや満足が12%、普通が47%であった。医療研修会の希望テーマについては実技指導的なもの、明日からの診療に役立つもの等が挙げられた。また記録集の作成の要望もあった。

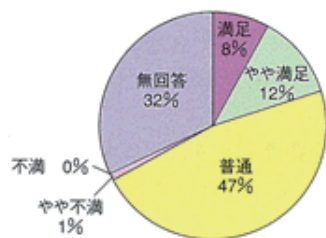
【図13】合同セッションについて



【図14】教育講演について



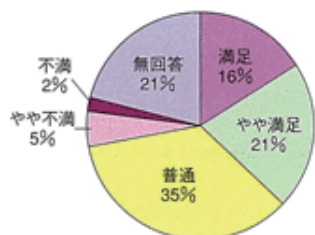
【図15】医療研修会について



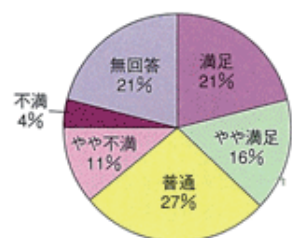
回 スポンサーイベント、ランチョンパスポートについて

スポンサーイベントは満足が16%、やや満足が21%、普通が35%であり、肯定的な評価は7割を超えた。一方やや不満と不満が併せて7%であった。意見として人気のあるセミナーの席数が少なく、整理券の入手が困難であったとの声が多く、キャパシティを考慮した会場の選択をより綿密にする必要がある。ランチョンパスポートについての評価は満足21%、やや満足16%、普通が27%で肯定的な意見が約2/3を占めたが、やや不満、不満は併せて15%あった。寄せられた意見から、分かり易い利用方法のアナウンスを徹底すること、1人で何枚も発券できるシステムの改善の必要性、発券時間の延長（特に午後の発券は2時からであり、講演の開始時間と重なっていることが多い）、発券締め切り時の通知方法の改善等が挙げられた。

【図16】スポンサーイベントについて



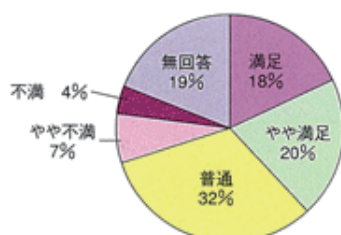
【図17】ランチョンパスポートについて



回 コングレスバッグについて

今回配布したコンgresバッグについて満足18%、やや満足20%、普通32%であり、70%が肯定的な印象をもった様である。寄せられた意見の中では底に敷板を入れて型崩れのしないもの、持ち手を長くして肩に掛けられるものが良い等の意見があった。

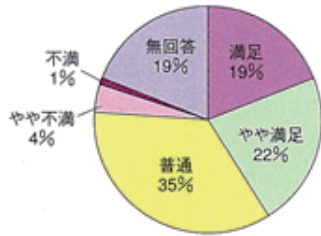
【図18】コンgresバッグについて



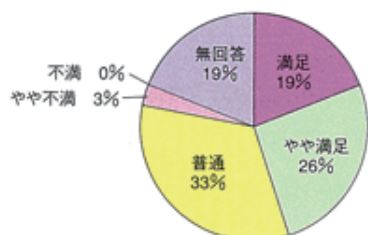
回 会場運営、今回のJDDW全体について、JDDW方式と参加して欲しい学会について

会場運営および JDDW 全体の評価であるが、何れも満足、やや満足、普通が合わせて3/4以上を占めており、例年と同様の満足度であった。ただし朝の会場費受け付け、特にクレジットカード受け付けに時間がかかったとの指摘が複数あった。これを受け2008年よりクレジットカード受け付けを増設し対応する予定とした。また JDDW 方式は、今後も続けたほうが良いが73%を占め、止めたほうが良いとする意見はわずか1%であり、現行の JDDW 方式の続行を支持する結果であった。2010年より消化器外科学会が JDDW に参加する予定であるが、今後 JDDW に参加して欲しい学会についての質問には、これまでと同様に膵臓学会、胆道学会、大腸肛門病学会を希望する意見が多かった。JDDW は今後より参加者の増加が見込まれ、あらゆる面に対策が必要である。

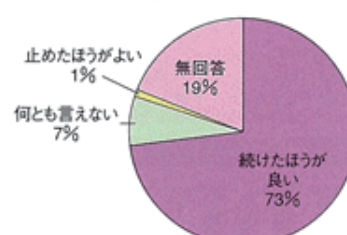
【図19】会場運営全般について



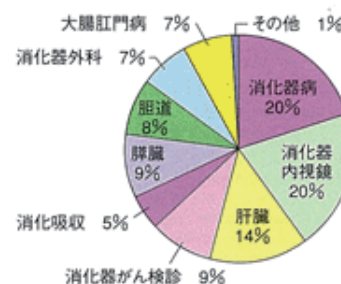
【図20】今回のJDDW全体について



【図21】JDDW方式について



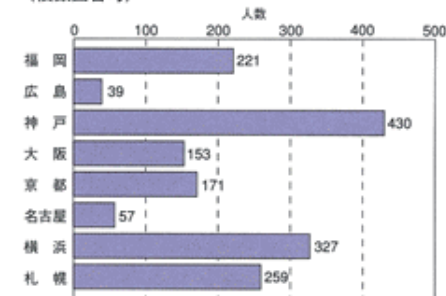
【図22】JDDWに参加してほしい学会



回 会場について

JDDW 開催地で印象が良かった会場は？との回答は神戸、横浜、札幌、福岡の順となった。神戸では JDDW が複数回開催されており、参加者の慣れも好印象につながった可能性がある。今回の課題として会場案内が十分でないと感じられたこと、ポータライナーの混雑等を指摘した声が寄せられた。

【図23】JDDW開催地で印象が良かった会場はどこですか？(複数回答可)



回 おわりに

JDDW 2007 は参加者16,784名であり、JDDW 発足以来最高を記録しました。これもひとえに多くの学会関係者のご協力あつてのことで、無事盛会裡に終了したことに運営委員一同大いに感謝をしております。一部会場の不備、またその他貴重なご指摘、ご意見をいただき、今後の改善点として大いに参考にしたいと思います。最後に、アンケート調査にご協力いただいた先生方に深く感謝申し上げますとともに、JDDW の発展のために、今後更なるご協力とご支援をお願い致します。

文責 JDDW 2007 広報委員長 三木 一正